

発達の様

歩く、走る、跳ぶなどの基本的な運動機能や、指先の機能が発達する。それに伴い食事、衣服の着脱などの身の回りのことを自分でしようとする。また、排泄の自立のための身体的機能も整ってくる。発声が明瞭になり、語彙も著しく増加し、自分の意思や意欲を言葉で表出できるようになる。行動範囲が広がり探索活動が盛んになる中、自我の育ちの表れとして、強く自己主張する姿が見られる。盛んに模倣し、物事間の共通性を見出すことが出来るようになると共に、象徴機能の発達により、大人と一緒に簡単なごっこ遊びを楽しむようになる。

養護

- ・一人ひとりの子どもの平常の健康状態や発育及び発達状態を的確に把握し、異状を感じる場合には速やかに適切な対応をする。
- ・生活環境を常に清潔な状態に保つとともに、身の回りを清潔にすることを心地よさが感じられるようにする。
- ・一人ひとりの子どもの生活リズムや発達過程、保育時間に応じて活動内容のバランスや調和を図りながら、適切な食事や休息が取れるようにする。
- ・乳幼児突然死症候群があることを知り、睡眠中の子どもの様子を10ごとに観察し、記録する。
- ・一人ひとりの気持ちを理解し、受容し共感しながら子どもとの信頼関係を深め、安心して自我を出せるようにする。
- ・自我を受け止められることにより、自分の気持ちを安心して出すことができるようにする。
- ・生活やあそびの中で、「ヤッター」「デキタ」という手応えが感じられるようにする。

教育に関わるねらいと内容

	ねらい	内容		ねらい	内容
健康	<ul style="list-style-type: none"> ・明るくのびのびと園生活をし、自分から全身を動かすことを楽しむ。 ・健康、安全を知り、生活に必要なことを、自分でしてみようとする。 ・保育士等や友だちと一緒に食べることを喜ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育士等や友だちとふれあい、安定感を持って生活する。 ・食事や午睡、あそびや休息など、園での生活リズムができる。 ・走る・跳ぶ・登る・押す・引っ張るなど、全身を使うあそびを楽しむ。 ・食べ慣れないものも保育士等の誘いかけや、友だちの姿を見て食べてみようとする。 ・身の回りを清潔に保つ心地よさを感じ、その習慣が少しずつ身につく。 ・保育士等に助けってもらいながら、衣服の着脱を自分でしようとする。 ・手洗いの仕方がわかり、自分でしようとする。 ・うがい、歯磨きに慣れる。 ・便器での排泄に慣れ、自分で排泄ができるようになる。 	環境	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な環境に親しみ、触れ合う中で、様々なものに興味や関心をもつ。 ・様々なものに関わる中で、発見を楽しんだり、考えたりしようとする。 ・見る、聞く、触るなどの経験を通して、感覚を豊かにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全で活動しやすい環境での探索活動を通して、見る、聞く、触れる、かく、味わうなどの感覚の働きを豊かにする。 ・玩具や絵本、遊具などに興味をもち、それを使ったあそびを楽しむ。 ・身の回りのものに触れる中で、形、色、大きさ、量などに興味を持つ。 ・自分の物と人の物の区別や、場所的感覚など、環境を捉える感覚が育つ。 ・身近な生き物に触れ、親しみをもつ。 ・季節の行事に参加して、雰囲気を楽しむ。
				言葉	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉の面白さや、言葉で表す楽しさを感じる。 ・人の話などを聞き、自分でも思ったことを伝えようとする。 ・絵本などを楽しんで見たり、聞いたりして言葉のやりとりをし、身近な人と気持ちを通わせる。
人間関係	<ul style="list-style-type: none"> ・園での生活を楽しみ、身近な人と関わる心地よさを感じる。 ・友だち・保育士等への興味や関心が高まり、関わりをもとうとする。 ・園での生活の中で、決まりのあることを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育士等や友だちとの安定した関係の中で、一緒に過ごす心地よさを感じる。 ・保育士等の受容、応答的な関わりの中で、欲求を満たし安定感を持って過ごす。 ・保育士等の仲立ちにより、友だちとの関わりを喜ぶ。 ・生活やあそびの中で保育士等や友だちの真似をしたり、ごっこあそびを楽しんだりする。 ・園生活に慣れ、食前や排泄後の手洗いやあいさつ、順番等の決まりがあることを知り、保育士等と一緒にする。 	表現	<ul style="list-style-type: none"> ・身体の諸感覚の経験を豊かにし、様々な感覚を味わう。 ・感じたことや、思ったことなどを、自分なりに表現しようとする。 ・生活やあそびの様々な体験を通して、イメージや感性が豊かになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育士等と一緒に様々な素材（水、砂、土、粘土など）に触れて、感触あそびを楽しむ。 ・保育士等と一緒に歌ったり、簡単な手遊びをしたり、リズムに合わせて身体を動かしたりしてあそぶ。 ・生活やあそびの中で、音、形、色、手触り、味、香り、動きなどに気付いたり感じたりする。 ・描いたものを見立てる。 ・身近な人や動物、経験した事を保育士等や友だちと一緒に模倣してあそぶ。 ・生活やあそびの中で、興味のあることや経験したことなどを自分なりに表現する。